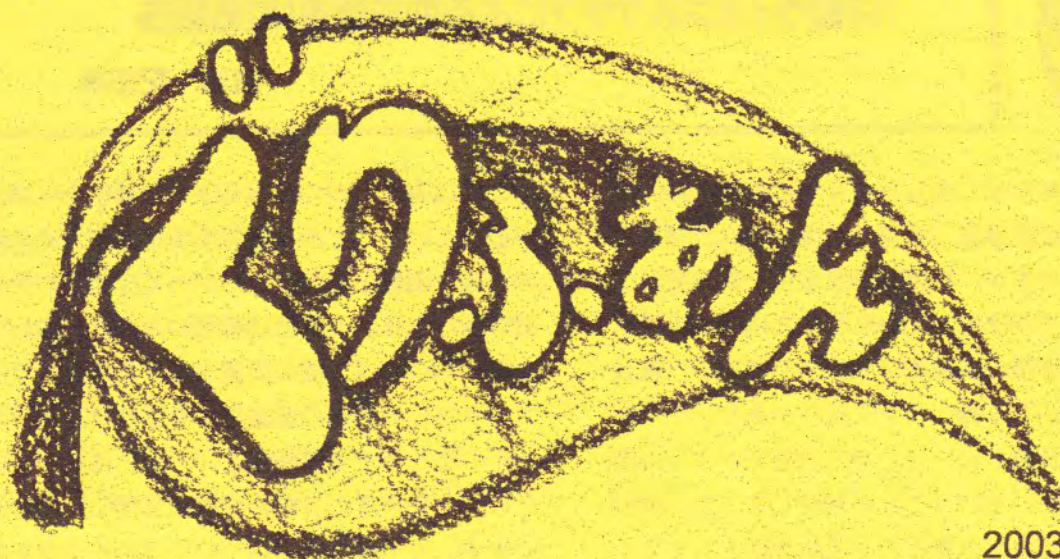
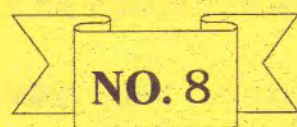




2003・10



LETTER

目 次

- 「京都ライオンズクラブによる助成事業」経過報告 2
- 第3回総会を終わって（龍池妃都美） 2
- きょうとグリーンファンドも有名に！？（大西啓子） 3
- 誰にもわかる太陽光発電
 「エネルギーバイバックタイム」（林敏秋） 4
- 「京都グリーン電力研究会」の報告（豊田陽介） 4
- 省エネポイント「ビールはびんのものを買おう」（木原浩貴） 5
- 平成15年度京滋地球環境カレッジ報告 5
- 「環境トップランナー賞」受賞 5
- はじめまして（竹村周子） 5
- 「自然」に愛着、マイ発電所（掃部和代） 6
- 会計について（山本時子） 7



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド



「京都ライオンズクラブによる助成事業」経過報告

龍池 妃都美

前号でもお知らせしましたが今年度の市民共同おひさま発電所設置事業（京都ライオンズクラブによる助成事業）ですが、設置場所決定に一部変更が生じています。当初決定しておりました山科区の清水台幼稚園が第2種の風致地区に該当している（風致地区には1種から5種のランク付けがあり、1、2種は特に規制が厳しい）ことから太陽光パネルの設置は認められないということが判明しました。屋根上のパネルがピカピカ光るのが風致地区としてよくないのだそうです。

今年度から京都市も一般家庭への太陽光発電設備導入に補助金を出すなど温暖化対策の一環としての取り組みを開始したということですが、今後こういった問題が生じることは十分に予想されることでもあり、緩和対策も含め行政側の検討課題となりそうです。

清水台幼稚園断念により新たな設置場所の募集を

考えてはみたものの、NEDOの補助金申請の期限が迫っていたことから設置場所補充のための再募集の実施は困難となり、したがって今年度の発電所設置計画は右京区の夢窓幼稚園のみとなりました。残念ながら今年は1機の設置となりますが、ライオンズクラブとの当初の協議により2003年、2004年の2ヵ年で4機設置ということになっていましたので、来年度に3機の設置を目指したいと考えています。来年度の募集については若干予定を前倒しし、9月下旬頃から10月末までの期間を予定されています。

夢窓幼稚園の方は7月はじめにNEDCの補助金申請を済ませ、近いうちに交付決定が見込まれています。そしていよいよ秋から設置に向けた寄付キャンペーンが始まります。来年1月の設置点灯式に向けての諸々の作業がまっています。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いします。

きょうとグリーンファンド2003年度総会を終わって

龍池 妃都美



きょうとグリーンファンドでは2003年度総会を5月24日、京エコロジーセンターにて開催しました。当日の出席ならびに委任により4つの議案（2002年度活動報告、同決算報告、2003年度活動計画、同予算案）はすべて原案どおりに可決しました。

省エネ・節電の推進と自然エネルギーの普及を目的に取り組んできたきょうとグリーンファンドの活動も3年が過ぎ、京都市内の1・2号機に続き、この春には城陽市の清仁福祉会の2つの保育園におひさま発電所3・4号機を設置することができました。事業を進めるに当たっては他のNPOとの連携、役割分担もスムーズにいき、市民参加型事業としてより充実したものとなりました。

設置場所においては、温暖化やエネルギー問題など、環境問題への取り組みが積極的に行われ、日常の活動や保育の中でも省エネ・節電の実践がなされているようです。環境問題に取り組む地域の拠点として、おひさま発電所が生み出す波及効果がますます期待されるようです。

事務局運営に関しては3名のスタッフで週4日を交代であたってきましたが、少しずつ社会的評価を受ける中で、事務的作業が煩雑さを増してきたことから5月よりパートの採用に踏み切りました。

今年度は京都ライオンズクラブから助成を受け市内の幼稚園に1機のおひさま発電所を設置すべく準備をしているところです。その他省エネや自然エネルギー普及のための情報の発信やセミナー・ミニ学習会の開催、自然エネルギーによる発電所の見学などの実施を考えています。

京都グリーンファンドも有名に!？」

事務局長 大西 啓子



きょうとグリーンファンドがかかわって設置したおひさま発電所は2003年2月で4機となりました。市民共同発電所は、各地で市民がいろいろな方式で進めています。京都のやり方はなかなか「スグレモノ」であるようです。きょうとグリーンファンド方式のポイントは、寄付金方式・おひさま基金の活用・地域の幼稚園や保育園への設置・子どもにもわかりやすい表示盤・設置場所での環境学習に力点を置くなどと整理してお話をする機会がこのところ増えてきました。

① 5月18日「第3回太陽光発電世界会議／日本の市民の取り組み国際会議 in 大阪」

大阪国際会議場

私も知らなかったのですが、太陽光発電の世界会議が4～5年に一度開催されており、今回の大阪は3回目、ちなみに前回はハワイでした。日本は太陽光発電については先進国で、生産も普及率も世界のトップだそうです。ただ、国レベルのエネルギー政策にはあまり反映されておらず、未だに原子力利用に多くの予算がつかまれている、たくさんの人が大変歯がゆい思いをしています。ですから逆に普及に貢献したのは市民であると、きっぱり言えるということなのです。大企業の展示会や学術会議に混ざって、市民の実行委員会主催で開かれた上記の催しは、おもにEUの状況をドイツのウォルフガング・パルツさん、日本の市民の動きをきょうとグリーンファンドの理事でもある京エコロジーセンターの豊田陽介さんが報告、各地の報告のコーナーできょうとグリーンファンドの取り組みを紹介しました。

② 8月23日「九州パイオニア会議 in 熊本」

阿蘇郡長陽村（阿蘇山の南側、文字通り日が長く当たる村だそうです。おひさま発電所にぴったり）

ここでいう「パイオニア」とは、個人で太陽光発電を取り付けられた方々のことです。日本では文字通りこの人たちが、太陽光発電普及の先がけとなり今の状況があるのですが、個人で設置したゆえにお互いの連携や情報交換の場は仕掛けがないと生まれません。そんな場として九州では西日本リサイクル運動市民の会が中心となって年に2回のペースで開催されています。いつも温泉のあるところで2次会が盛り上がる!?この会議でもきょうとグリーンファンドの方式は現実的な方法として関心が高く、熊本でも計画が進行中だそうです。

③ 9月15日「市民共同発電所全国フォーラム2003」

滋賀大学彦根キャンパス

昨年に続いて2回目の開催、市民共同発電所の全国大会といった催しで、日本環境会議と平行して開催されました。違ったレベルでの最新の市民共同発電所にまつわる情報とそれにかかわる人が一堂に会して、全体会・分科会で報告・質疑応答が交わされました。この分科会でもきょうとグリーンファンドの報告をしたのですが、「きょうとグリーンファンドの方式はなかなかのスグレモノ」という実感を持ちました。毎年次々と設置が進んでいるのは京都ぐらいいので、スタッフ一同「苦労が吹っ飛ぶ」思いです。

このたび、きょうとグリーンファンドのおひさま発電所設置のための「手引書」が完成しました。何とA4版カラー刷り、私たちが情報を提供して京エコロジーセンターが制作したものです。ちょうどいま2004年度の設置施設を募集中ですので、大いに役立てたいと考えています。ご希望の方は事務局までお問合せください。





自然エネルギー普及のセミナーなどで話をさせていただくと、必ずといっていいほど出る質問があります。太陽電池(PV)を製造するエネルギーと太陽電池が生み出すエネルギーとの関係です。太陽電池は、何年で製造に要したエネルギーを取り戻すことができるのか、というものです。むかし、太陽電池はエネルギー的に元が取れないといういわさが流布したので、こんな質問が多いのかもしれません。

さて一般に、太陽電池を製造するのに必要なエネルギーを、何年で太陽電池が生み出すエネルギーが取り戻せるかを示す指標をエネルギー回収年数(エネルギーペイバックタイム=EPT)と呼びます。式にしますと下記のような形になります。

エネルギー回収年数=(太陽電池の素材を製造するエネルギー+太陽電池自体を製造するエネルギー)÷1年間の太陽電池の発電量

この式から製造に要するエネルギーは、太陽電池の素材(シリコン)や製造工程によって大きく変わることが予想されます。つまり製造工程などが合理化され省エネが徹底されればEPTはどんどん小さくなる可能性があります。発電量は日射量と太陽電池の変換効率に依存します。変換効率が高ければそれだけ回収年数が短くな

ります。太陽光発電技術研究組合(PVTEC)が1996年に行った検討結果によると、年間製造量が3万kWで多結晶シリコン太陽電池で約2.2年、アモルファスシリコン太陽電池で約1.6年となっています。生産量が10万kWだと多結晶で1.6年、アモルファスで1.1年と予測されています。現在世界の生産量は2002年度で52万kW、そのうちの半分が日本ですから少なく見積もっても20万kWは軽く超していると思います。メーカーによっては10万kWを生産しているところも出てきています。生産量が伸びればますますEPTは下がる傾向にあるといえます。

つまり、太陽電池の設計寿命は20年といわれていますので、エネルギー的には3年目からはどんどん新たなエネルギーを生み出していることになります。但し、これはあくまでもエネルギー的な回収であって、コストはまた別の要素が入ってくるので同列には議論できません。

参考文献:

「新・太陽電池を使いこなす」 桑野幸徳著

(講談社ブルーバックス)

「太陽光発電 その発展と展望」

太陽光発電技術研究組合編著(朝日新聞社)



「京都グリーン電力研究会」の成果

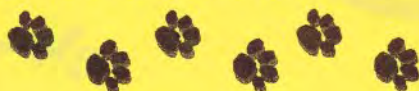
豊田 陽介

きょうとグリーンファンド、気候ネットワーク、京のアジェンダ21フォーラムなどのメンバーで構成される「京都グリーン電力研究会」の成果報告会が5月24日、京エコロジーセンターで開かれた。研究会のメンバーより京都でのグリーン電力の可能性について報告した後、特別講演として東北大学の長谷川公一教授より「日本におけるグリーン電力の可能性」についての講演がおこなわれた。

同研究会では「京エコロジーセンター2002年度調査研究事業」として、京都におけるグリーン電力制度

の可能性について一年間調査を行ってきた。今回の成果報告会では、京都独自のグリーン電力制度を創設し、太陽光を中心とした自然エネルギーを普及させるためのいくつかの方策について提案をおこなった。

また、長谷川氏の講演では、省エネルギーとあわせて自然エネルギーの普及を行う「きょうとグリーンファンド」の取り組みこそ本来のグリーンファンド活動であると高く評価し、今後の発展に期待をよせるとの発言をおこなった。



「ビールはびんのものを買おう」

木原浩貴 (気候ネットワークスタッフ・財団法人 省エネルギーセンター 省エネルギー普及指導員)



まだまだ暑い日＝ビールがおいしい日が続いていますね(たぶん・・・注：原稿執筆は9月上旬です)。

みなさんはご家庭でビールを飲まれるとき、どんな容器に入ったものを選びますか？缶でしょうか、瓶でしょうか。

アルミ缶は「電気の缶詰め」と形容されるほど、その作成に多くの電気が使われています。一方、ビール瓶は洗って何度も繰り返し使うことができるので、エネルギー消費量はぐっと少なくて済みます。確かに瓶より缶の方が軽くて持ち運びも楽ですし、「瓶だと量が多すぎる、一口サイズの缶ビールがちょうどいい！」などの理由もあるとは思いますが、瓶と缶、どちらでもいい場合はぜひ瓶を選んでください。家庭での省エネのように家計の節約に直接はつながらないかもしれませんが、大変大きな省エネになります。

「リターナブル瓶は、洗浄に大量の水を消費するので、かえって環境に良くないのでは？」と思われるかも

しませんが、ライフサイクル比較すると、リターナブル瓶はペットボトルやアルミ缶に比べて水の消費量もかなり少なくて済みます。

なお、同じ瓶でもワンウェイ瓶(一回使い切りの瓶)は、リサイクル時に高温で溶かすことになりますのでエネルギー消費量は非常に多くなってしまいます。ライフサイクルで比較すると、アルミ缶よりも多くの二酸化炭素を排出してしまうようです。やはり、いくらリサイクルできるといっても、使い捨ての容器は使わないのが一番ですね。

物を作るとき、そしてリサイクルするときにもエネルギーが必要です。家庭での節電・節水などの取り組みも、物を買うときに省エネの視点で製品を選ぶ取り組みも実践してみてください。それは、エネルギー消費量の少ない製品の優先的な開発・販売を応援することになり、省エネ型の社会づくりにもつながります。

平15年度京滋地球環境カレッジ報告

主催：京都府、滋賀県

第3回「体験して見よう！自然エネルギー」

8月9日(土) (担当きょうとグリーンファンド)

午前・あけぼの保育園(台風10号の影響で中止)

午後・キャンパスプラザ京都(13:30～16:30)

最初にきょうとグリーンファンドについて大西事務局長が紹介。つづいてメインテーマ「自然エネルギー入門」を講師の林敏秋さんがパワーポイントを使ってユーモアを交え話され好評だった。途中屋上に上がりまだ台風の余波を感じる中、太陽光発電関連施設を見学した。

京都府より「環境トップランナー賞」

受賞しました

去る6月19日京都府開庁記念日に合わせ標記環境トップランナー賞を受賞しました。

この賞は環境の保全や創造に向けた先駆的・先進的な取り組みを行い府民の環境配慮行動に多大な影響を与え事業者及び団体に対し送られるのだそうです。きょうとグランド他2団体が受賞しました。



はじめまして・・・竹村周子です

心地よい風を感じながら“うーん、やっぱりこの季節は最高”とうれしくなるこの頃です。

5月よりきょうとグリーンファンドの事務所でお世話になっています。小さな“オフィス”。でも、このファンドを支えてくださる団体、個人の方がたくさんおられます。その把握だけでもまだ大変な日々であります。自然に守られながら行われる私たちの生活、その自然からのエネルギーをもらい、より心地よい町、地球環境を残していけるような活動に私も加えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。





「自然」に愛着・マイ発電所

掃部 和代

自 然エネルギー利用については以前から関心をもっていました。京都グリーンファンドさんが太陽光発電の設置の活動をされていることを知りました。それなら我が家にもと思い、同じように関心をもっていた大阪市内に在住の友達をさそって同じ時期に設置しました。

工 事も終わると、メーターの動きにワクワクです。設置してみると、また、一段とおもしろいのです。日射の角度や雲の流れ等によって瞬間ごとに、発電量の数値が動いている、晴れと思っていてもうす雲で覆われていたり、雲の色や濃さによっても発電量がちがうのです。また、発電量と使用量のかねあいによって、売電のメーターの動きが、ちがいます。そんな条件を数値が教えてくれているのです。

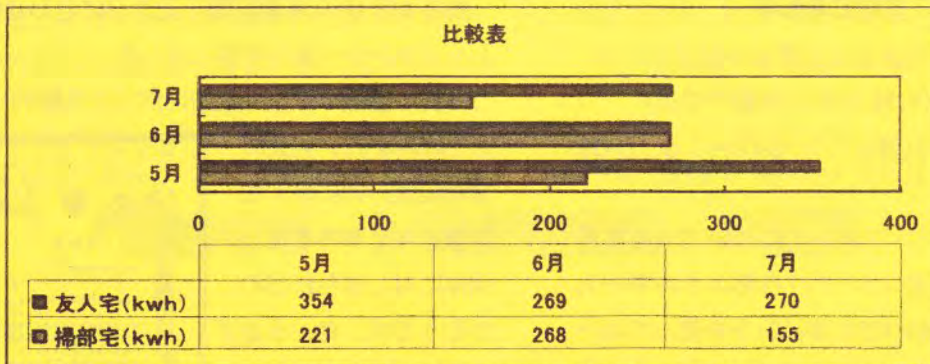
真 夏にも、発電の数値を見ても、気持ちがパッとしないのは、雨天のせいばかりでなく、立地条件のせいでもあるのです。西に我が家より高い、川の土手があり、大きな木が繁っています。今まではこの木のおかげで、夏も涼しく、台風の厳しい風が我が家を守ってくれている、春になるとホーホケキョと鳴き声を、聞かせてくれるすばらしい自然だと喜んでいたのでした。しかし風は枯葉や花粉を屋根に載せていく、小鳥が糞

を落としていく、…。発電パネルを貼ってからは、木への思いは一変です。大阪市内に住む友人家は、太陽を遮るものは、何もない状況です。そちらの発電の数値は、スモッグなどの空気の汚れ具合で、違ってくると言います。それぞれの条件があるものの発電量を比べると、ガックリ。

数 値を見るたびに一喜一憂ですが、立地条件が悪いのを承知の上で、設置したのです。その度に「でも、すこしはCO2抑制に貢献しているのだ」と思い、鳥の鳴き声に耳を傾け、川を小魚が泳ぐ姿を見てこんなに身近に自然に囲まれているなんて、そして太陽光を利用してと、こんな条件に納得しています。

ニ ュースで「降り続く雨の影響で…」と聞いてもあまり気にもとめませんでしたが、マイ発電所の設置によって天候や自然、環境に関心が高くなりました。また、わが発電所を設置してからは、近所でも関心をもっておられた方が「我が家にも」と、設置のはずみになったようです。

「おひさま発電所」は、環境問題についての関心を点から線へと広がるエネルギーを内包しているようです。



ろうきんのパートナーシップに応募し、グリーンファンドの活動に参加させてもらっています・掃部

会計について

きょうとグリーンファンドは会員・サポーター（賛助会員）のみなさんに支えられて活動しています。
 （2003年3月31日現在会員54人、サポーター46人） おひさま発電所は順調に4機誕生しました。
 それぞれの発電所のパネルの裏には皆様のお名前が記入され、おひさま基金は目的を果たしています。
 各発電所についての報告はぐりふあんレターでお知らせし、また、ホームページに掲載ご理解を得ていることと思います。ここまでの仕事を週4回、4人でボランティア型でやってきました。だから会員獲得のために積極的な働きはできませんでした。今後の大きな課題です。そこで皆様をお願いします。年度内に是非会費の納入をよろしくお願い致します。

自動引き落としの皆様、近畿労金よりNPO寄附をしていただいている皆様、ありがとうございます。

収 支 計 算 書 2002年4月1日から2003年3月31日まで

一般会計		(単位:円)	
科 目	決 算 額	【経常支出の部】	
【経常収入の部】		事 業 費	448,889
会 費 収 入	148,000	お ひ さ ま 基 金 支 出	0
正 会 員 会 費 収 入	148,000	会 議 費	7,000
事 業 収 入	90,500	旅 費 交 通 費	0
補 助 金 等 収 入	211,000	通 信 運 搬 費	0
地方公共団体補助金収入	91,000	広 報 印 刷 費	54,377
民間補助金収入	0	プ ロ ジ ェ ク ト 費	221,512
民間助成金収入	120,000	諸 謝 金	166,000
寄 付 金 収 入	754,952	管 理 費	719,648
寄 付 金 収 入	251,452	事 務 局 手 当	0
募 金 収 入	503,500	会 議 費	4,700
ブ ロ ジ ェ ク ト 収 入	340,000	旅 費 交 通 費	191,107
お ひ さ ま 基 金 収 入	163,500	通 信 運 搬 費	132,452
雑 収 入	19,800	消 耗 什 器 備 品 費	0
受 取 利 息	160	消 耗 品 費	36,098
雑 収	19,640	事 務 用 品 費	21,638
経常収入合計	1,224,252	事 印 刷 製 本 費	39,923
		賃 借 料	272,000
		租 税 公 課	6,600
		負 担 金 支 出	5,000
		雑 費	10,130
		経常支出合計	1,168,537
		経常収支差額	55,715
		【その他資金収入の部】	
		その他資金収入合計	0
		【その他資金支出の部】	
		その他資金支出合計	0
		当期収支差額	55,715
		前期繰越収支差額	747,785
		次期繰越収支差額	803,500

貸 借 対 照 表 2003年3月31日現在

一般会計		(単位:円)	
科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現 金 預 金	803,500		
流動資産合計		803,500	
資産合計			803,500
【正味財産の部】			
正味財産			803,500
(うち当期正味財産増加額)			(55,715)
負債及び正味財産合計			803,500

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

- 会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。
- 賛助会員は、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員か賛助会員かをお選びください。

(入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加していただきます。
賛助会員	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回(入会月) [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆賛助会員…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々500 円が引き落とされます。 ◆賛助会員…月々500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

< ぐりふあん日誌 > 2003年

- | | |
|--|--|
| 4.22 清心・清仁保育園最終報告 | 7.24 事務局会議 |
| 5.07 ぐりふあんレター発送/PV 世界大会 実行委員会 | 7.26 あけぼの保育園エコ夏祭り |
| 5.14 第25回理事会、自然エネルギー研究会 | 7.29 京エコロジーセンター見学と打ち合わせ
(あけぼの保育園と) |
| 5.18 「第3回世界太陽光発電世界会議日本の市民の
取り組み世界会議in大阪」。パネラーとして参加 | 8.01 自然エネルギー研究会 |
| 5.21 事務局会議 | 8.04 第28回理事会 |
| 5.24 2003 年度総会/長谷川公一さん講演会 | 8.09 京滋環境カレッジ第3回担当 |
| 6.04 事務局会議 | 8.23 九州パイオニア会議in熊本 で事例報告 |
| 6.09 NEDO補助金説明会 | 9.02 ひと・まち・交流館「市民活動交流サロン」で活動報告 |
| 6.16 自然エネルギー研究会 | 9.04 「京都府地球温暖化防止活動推進センター」設立に
向けた地域ミーティングで事例報告 |
| 6.19 京都府環境トップランナー賞受賞
夢窓幼稚園とNEDO申請に関する打ち合わせ
第26回臨時理事会 | 9.10 事務局会議 |
| 6.24 温暖化防止推進センター設立総会出席 | 9.15 市民共同発電所全国フォーラムで事例報告 |
| 7.02 事務局会議 | 9.16 第29回理事会/自然エネルギー研究会 |
| 7.05 第27回理事会 | 9.17 事務局会議 |
| 7.09 事務局会議 | 9.22 第30回臨時理事会 |
| 7.14 自然エネルギー研究会 | 9.29 来年度設置場所募集説明会(あけぼの保育園) |
| 7.17 夢窓幼稚園学習会・説明会 | |
| 7.18 清仁保育園セミナー | |

特定非営利活動法人きょうとグリーンファインド



事務局

〒604-8155

京都市中京区烏丸通錦西入る占出山町 308

ヤマチュウビル2F (火～金 13:00～17:00)

TEL/FAX 075-241-0550

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

